

2月9日(火曜日)

ドル/円

手掛かり難で次の一手待ち

8日(月)の主な推移

NYダウ平均

9908.39ドル
(-103.84ドル)

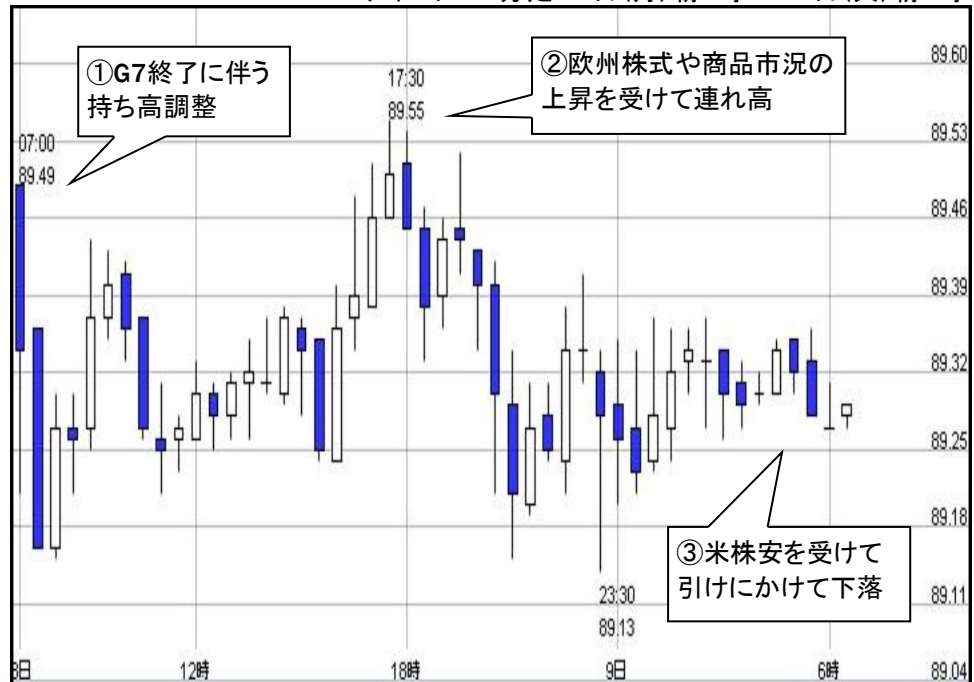
米長期金利
(10年債利回り)

3.5616%
(-0.0096%)

NY原油先物

71.89ドル
(+0.70ドル)

チャート: 30分足 8日(月)朝7時 ~ 9日(火)朝7時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所: 外為どっとコム

①

G7で為替について新たな材料が出なかったことから、ドル売りポジションの解消による持ち高整理の円売り・ドル買いが出たことで、ドル/円は取引開始直後に89.49円まで上昇した。しかし取引一巡後に89.14円まで下落するなど、方向感に欠ける展開が続いた(①)。

②

取引材料に乏しい中、欧州の株式市場が上昇して始まったことや時間外の原油先物相場が買われたことでクロス円が上昇した。その流れがドル/円にも波及し、一時8日の高値となる89.55円をつけた。しかしその後は欧州のソブリンリスクが意識されたことからクロス円が軟調な展開となり、ドル/円も40銭近く値を下げる場面が見られた(②)

③

NY時間にかけて指標発表や要人発言の予定もなく、手掛かり難で小動きが続いた。NYダウ平均株価が引けにかけて100ドル近く下落したため、ドル/円はNY時間からの保合からやや下落推移した(③)。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加資金供給
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・外貨準備通貨としてのドル需要の減退
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり
- ・金融市場全体のドル売りムードの高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 88.60-89.90円

8日は手がかり材料難から、株式や商品市況の動向や持ち高調整の影響を受けやすい展開となった。そのため一日の値幅はわずか42銭と、狭い値動きとなっている。

本日も主だった指標発表もなく、手がかりに乏しい相場展開が予想される。そのため昨日に引き続き、主要国の株式市況や国際商品市場の動向に加え、需給やポジション調整といった内部要因が相場の行方を支配するものと思われる。昨日は欧米の株式市場や、ギリシャに代表される欧州の一部国における財政問題が相場を動かしており、本日も引き続き機注意したい。

テクニカル的には、昨日のレンジを大まかに捉えると89.10円～89.60円であり、まずはどちらに抜けるかであろう。NY株式市場の下落や南欧諸国のソブリンリスク問題を考慮すると、ドル/円の流れは下の方に分がありそうである。それ以外では、89.90円と88.50円、どちらを先に試すのかが注目されよう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/9(火)	24:00		(米) 12月卸売在庫	+1.5%	+0.5%
	27:00	○	(米) 財務省3年債入札(400億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com